北海道スタディ参加者の皆様へ

北海道大学では機関長の許可を得て、下記の研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、既に提供された情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。データの利用・提供を拒否することによる不利益はありません。また、データ利用・提供を拒否したとしても「環境と子どもの健康に関する北海道 スタディ」への参加を取りやめることとはなりません。

第 1 版

作成日　2024 年 1 月 5 日

研究課題名 **（研究番号）**	国立研究開発法人日本医療研究開発機構成育疾患克服等総合研究事業 「出生コホート連携に基づく胎児期から乳幼児期の環境と母児の予後との関連に関する研究」
北海道大学の **研究責任者（所属）**	岸 玲子（北海道大学　環境健康科学研究教育センター）
連携する研究機関※1 **および各連携機関の** **研究代表者**	・研究代表施設の研究代表(責任)者（データ提供先の責任者） 国立成育医療研究センター　社会医学研究部　森崎 菜穂 ・研究分担施設の研究責任者（データ提供元のコホートの責任者） 東北三世代コホート調査：東北大学・災害科学国際研究所　栗山 進一 浜松母と子の出生コホート研究： 浜松医科大学子どものこころの発達研究センター　土屋 賢治 BOSHI コホート： 東北医科薬科大学医学部　目時 弘仁 胎児と胎児期に始まる子どもの健康と発達に関する調査（C-MACH コホート）： 千葉大学大学院医学研究院　森 千里 成育母子コホート： 国立成育医療研究センター生体防御系内科部内分泌・代謝科 堀川 玲子 九州・沖縄母子保健研究： 愛媛大学大学院医学系研究科　三宅吉博
本研究の目的	＜周産期疾患および慢性疾患の予測・早期発見＞ 北海道スタディを始めとした国内での妊娠時から児童の成長までを記録したコホート（出生コホート）の情報は大変貴重で数が限られています。このため、国内各地にあるコホートの情報を共有して解析を行うコホート連携の基盤を構築し、妊娠中の合併症・子どもの各種予後アウトカムに関して、リスク因子の個別解析およびメタ解析を行い、周産期疾患および慢性疾患の予測・早期発見に活かすことを目的としています。

	具体的な研究内容としては、妊娠高血圧症候群（HDP）／低出生体重（LBW）など妊娠中の合併症・子どものさまざまな健康課題に関して、リスク因子の個別解析および統合解析（メタ解析）を行い、周産期疾患および慢性疾患の予測・早期発見に活かすことを目的としています。
研究実施期間	研究機関の長の許可日～2027 年 3 月 31 日
研究の方法 （利用する試料・情報等）	<研究対象＞ 北海道スタディコホート（北海道コホートおよび札幌コホート）の参加者さま ＜研究方法＞ 北海道スタディコホートを含む日本国内の各コホートにおける解析結果のメタ解析によって、各種リスク因子について統合リスク予測を行います。このために選定された本研究グループメンバーは、集計情報、あるいは本集計情報を作成するために必要となる個人を特定できる氏名等の情報を研究 ID に置換したデータセットを研究代表者に提供し、研究事務局にてメタ解析を実施致します。 ※これまで、参加者さまからご提供いただいた情報を解析できるのは北海道スタディの共同研究者のみでしたが、今後は連携する研究機関[※1]に所属する研究者も解析できるようになります。 ※参加者さまの氏名など、本人を特定できる情報は解析に使用しません。個人情報は厳重に守られます。 ＜利用する試料・情報＞ ・参加者さま（お母さまおよびお子さま）より北海道スタディの調査票でご回答頂いた情報 ・参加者さま（お母さまおよびお子さま）より北海道スタディでご提供頂いた生体試料の情報
個人情報の取り扱い・試料/情報の他の研究機関への提供 および提供方法	・当研究のデータは、対象となる参加者様の情報に対して個人が特定されない匿名情報処理を行い利用します。共同研究機関とのやり取りに際しても、個人の特定につながらない状態に加工した情報で行います。 ・研究内容は学会発表や学術論文の形で公表する予定です。公表する際には個人が特定できない情報のみを発表いたします。
本研究の資金源 （利益相反）	本研究は国立研究開発法人日本医療研究開発機構(AMED)にて実施するものであり、申告すべき利益相反はございません。
お問い合わせ先	北海道大学環境健康科学研究教育センター内　北海道スタディ事務局 電話：011-706-4749